

この展覧会は、野外造形会で取り組んだ作品を展示しています。第1学年は学校で、第2～4学年が別所沼公園で、第5、6学年が北浦和公園で活動しました。

子供たち一人一人が諸感覚を通して感じたことや考えたことを、主体的に表現していけるようにするため、「写生会」から「野外造形会」へと名称を変更し31年目の取組となりました。ただ単に見たものをそのままかくのではなく、画用紙や用具、活動場所など自分の意思で選択決定し、思いを膨らませて取り組むこの活動は、図画工作の総合的な力を十分に発揮できる場となっております。

子供たちは、周囲の環境や人と十分に関わりながら表現を行っていました。一つ一つの作品には、子供たちの感じたことや考えたことが十分に込められています。ぜひ作品を御覧いただき、子供たちの工夫やこだわりを見付けてください。

今年度も埼玉大学教育学部芸術講座の学生が参加してくださいました。子供たちにとって身近な方々、美術に関して専門的な方々が真剣に活動する姿や、その表現に触れることができたことは、大変意義のあるものでした。参加して下さった皆様と子供たちのコラボレーションミュージアムを御堪能ください。

作品の見方について

子供たちは、「こんなことを表したい」「こんな作品にしたい」とそれぞれに思いをもって作品をつくります。中には作品とお話をしながらつくる子もいます。その思いを実現するために、材料を選んだり、表現を工夫したりします。そうした過程がとても大事で、最も評価したいところです。

活動しているところを見ていなくても、できあがった作品をよく見てみると、その子供たちの奮闘ぶりが伝わってきます。また、自分の思いを十分に表すために、心を込めて仕上げたものもあります。どれも素晴らしい作品なのです。

「作品はその子自身」という言葉があります。作品を見ながら子供たちの心や思いを受け止め、ゆっくり味わってください。

各学年の取組

- 第1学年 「こんな あそびも できたらいいな」
- 第2学年 「こんな こうえんに なったらいいな」
- 第3学年 「こんな 公園 あったらいいな」
- 第4学年 「公園で一番すきな所は・・・」
- 第5学年 「春の風を感じて」
- 第6学年 「わたしが見つけた風景」

